

# 竜石保育園 保育士の自己評価集計表

対象保育士17名

2021年6月実施

評価基準 1:かなりできている 2:ほぼできている 3:あまりできていない 4:ほとんどできていない ※無回答有

1章 総則	1	2	3	4
1. 保育園は入所している子どもの最善の利益を考慮し、心身ともに健やかに育てる責任があることを理解していますか。	14	3		
2. 「保育の目標」に基づいて、保育を行っていますか。	3	14		
3. 子ども一人ひとりの人格を尊重した保育を行うとともに、保育士自らの人間性や専門性の向上に努め豊かな感性と愛情を持って保育していますか。	6	11		
2章 子どもの発達				
1. 乳幼児期は生涯にわたる「生きる力」の基礎が培われる時期であることを理解して保育を実践していますか。	11	6		
2. 子どもの発達は、豊かな心情・意欲・態度を身につけ新たな能力を獲得していく過程であることを理解していますか。	11	6		
3. 子どもの発達の特性や「発達過程」を理解し、発達の連続性に配慮して保育をしていますか。	2	15		
3章 保育の内容				
1. 保育の内容は、目標を具体化した「ねらい」とさらに具体化した「内容」から構成されていることを理解していますか。	8	7		
2. 保育所保育は、「養護」と「教育」が一体となって展開されることに留意していますか。	8	7		
3. 養護とは、子どもの生命の保持及び情緒の安定を図るために保育士が行う援助や関わりであり、教育は子どもが健やかに成長しその活動が豊かに展開されるための発達の援助であることを理解していますか。	4	12		
(1)養護に関わるねらい・内容(生命の保持及び情緒の安定)				
4. 朝の健康観察を丁寧に行ったり、一人ひとりの平常の健康状態や発達状態を的確に把握していますか。	7	9	1	
5. 子どもの特性や発達過程を踏まえ、常に清潔で安全・安心な保育環境に心がけていますか。	7	10		
6. 子どもとの応答的な関わりやスキンシップを常に心がけ、子どもの心の安定につなげていますか。	7	10		
7. 保育士等の温かい受容的な雰囲気や関わりが、子どもの自信や自己肯定感を育むことを理解して保育していますか。	8	9		
8. 「早くしなさい!」など、せかす言葉を不必要に使わないで、一人ひとりの発達過程に合わせた対応を心がけていますか。	2	9	6	
9. 「だめ!」「いけません」など、制止する言葉を不必要に用いないようにしていますか。	1	12	4	
(2)教育に関わるねらいと内容				
10. 散歩や園庭など戸外で遊ぶ機会を多く取り入れていますか。	10	5		
11. 保育士が率先して身体を動かすなど、子どもがその楽しさを体験できるよう配慮していますか。	1	14	2	
12. 食事の前や排泄の後の手洗いを励行する等、清潔の習慣が身につくよう援助していますか。	11	6		
13. 子どもが見通しを持って意欲的に行動できるようにするとともに、快適に生活するための約束事をわかりやすく伝える工夫をしていますか。	3	14		
14. 危険に気づいて行動できるよう、安全についての心構えや約束を日ごろから話していますか。	5	11	1	
15. つまずきや葛藤、けんかななどを子どもの育ち(発達)に欠かせないものとして捉え、対処していますか。	2	15		
16. 困っている友だちのことを心配する等、思いやりを持てるよう援助していますか。	7	10		
17. 保育士は子どもにとって最も身近な人的環境であるとともに、保育士の全ての言動が子どもにとってのモデルになっていることを常に意識していますか。	4	13		

18. 園生活の中で順番を守るなど、決まりの大切さを理解できるように、丁寧に説明していますか。	5	12		
19. 子ども同士が力を合わせて取り組む姿や協力して遊びを発展させていく姿を十分に認め、集団意欲を高める関わりをしていますか。	5	11	1	
20. 子ども同士が思ったことを相手に伝えたり、相手の思いにも気付ける様に援助していますか。	4	13		
21. 身近な自然事象に触れ、「どうして?」や「なぜ?」といった疑問に対して、一緒に調べたり考えたりしていますか。	3	9	5	
22. 身近な自然を通して、その美しさや不思議さなどに気付くことができるようにしていますか。	4	12	1	
23. 毎日の生活の中で、図形や数量、前後左右、遠近等の位置の違いや時刻などについて関心が持てるような環境構成に配慮していますか。	1	10	6	
24. 信頼できる相手に伝えたい、わかってもらいたいという気持ちが発語を促すことを理解し、子どもの表情や姿をよく観察し、その場に適した言葉がけをしていますか。	2	15		
25. あなたは、子どもがわからない事を尋ねたり、楽しい経験を話すなど、安心して話せる雰囲気を作っていますか。	4	11	2	
26. 子どもが絵本や物語の内容と自分の経験を結び付けたり、想像をめぐらせるよう、読み方を工夫していますか。	7	8	2	
27. 「ごめんなさい」「ありがとう」など、生活に必要な言葉をいつも使えるように保育していますか。	9	8		
28. 歌ったり、踊ったりして、音や動きの楽しさに気付き、心地よさを感じる機会を作っていますか。	2	14	1	
29. 様々な音、色、形、手触り、動き、味、香りに気付き、心地よさを感じる機会を作っていますか。	2	13	2	
30. ハサミなど色々な道具の使い方を一人一人丁寧に教えたり見守ったりしていますか。	6	8	3	
31. 自由に描いたりつくったりできるように、材料や用具を子どもが自由に取り出せる場所に置く等工夫をしていますか。	3	9	5	
(3)乳児保育				
1. 室内の温度や湿度調整、換気チェックをしていますか。	8	6		
2. おむつ交換時は、優しく声をかけながら行っていますか。	9	4		
3. 授乳は抱いて、目を合わせたり、微笑みかけたりしながらゆったりと行っていますか。	5	7		
4. 一人ひとりの生活リズムに合わせて、睡眠がとれるように、静かな空間を確保していますか。	6	6	1	
5. しぐさや声や動きを介して発する欲求を察知し、タイミングよく温かな応答的関わりをしていますか。	2	11	1	
6. 一人ひとりの育ちやその日の様子など、職員間で連携をとり、職員全体で見守る体制ができていますか。	6	8		
7. 離乳食については、家族と連携をとりながら進めていますか。	4	5		
4章 保育の計画及び評価				
1. 園の保育理念・保育目標・保育過程などを理解していますか。	6	11		
2. 指導計画のねらいや内容を保護者にわかるように説明できますか。		8	4	
3. 指導計画は必ず保育過程に基づいて作成していますか。	4	5		
4. 年間・月案等の長期的な指導計画と関連させ、子どもの生活に即した週・日案等の指導計画を作成していますか。	4	5		
5. 行事は、その保育上の意義を十分検討した上で、指導計画に組み入れていますか。	3	7		
6. 保育計画(年・月・週)が実際の子どもの姿、心情・意欲・態度に合っているか自己の保育を振り返り、反省・評価をしていますか。	3	6		
7. あなたの指導計画の反省・評価は、次の指導計画作成に反映できるものとなっていますか。		8	1	
8. その日あった出来事や気になる子どもの様子など、その子どもに関わる他の職員と共有していますか。	10	6		

5章 健康及び安全				
1. 子どもの日々の健康状態を把握し、それを一人ひとりの保育に生かしていますか。	6	10		
2. 身長、体重などの定期的な計測及び健康診断の結果を保護者に伝えていますか。	11	1		
3. 子どもが活動しやすいように、その都度、保育室の換気や温度湿度に配慮していますか。	9	7	1	
4. 子どもが危険な場所、危険な遊びがわかり、安全に気をつけて行動するよう指導していますか。	5	11		
5. 子どもが落ち着いて食事・おやつを楽しめるように雰囲気作りなど工夫していますか。	5	11	1	
6. 自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つよう心掛けていますか。	6	11		
7. 食物アレルギーの子どもに対して、家庭と連携しながら除去食などの配慮をしていますか。また、誤食の予防対策として常にマニュアルに沿った対応をしていますか。	8	9		
8. あなたは、保護者が子育ての悩みや心配事など安心して話せる存在になるよう心掛けていますか。	3	14		
9. あなたの保育に批判的な保護者に対しても、丁寧に意見や要求を受け止めようとしていますか。	4	13		
10. 食育の計画に基づいて、食育に関する取り組みを実践していますか。	4	11	2	
6章 保護者に対する支援				
1. 送迎の際に保護者と必ず言葉を交わすようにしていますか。	7	10		
2. 一人ひとりの保護者と必要に応じて個別に話す機会を持っていますか？	1	12	1	
3. 家庭との信頼関係が築けるような連絡ノートの手書き方を心掛けていますか。	3	12		
4. 保護者からの相談内容などを、担任一人の問題にしないで園全体で受け止めようとしていますか。	8	9		
7章 職員の資質向上				
1. 職員会議などでは、子どもの最善の利益を尊重して発言していますか。	2	9	5	
2. 園の内外における研修・研究活動及び自己研鑽により専門性を高める努力をしていますか。	4	13		
3. 同僚のそれぞれの役割と、あなたが果たす役割とを理解していますか。	6	11		
4. 職員同士の信頼関係、保護者との信頼関係を深めるための努力をしていますか。	3	13	1	
5. あなたは、創意と工夫を惜しまず、喜びや意欲を持って保育をしていますか。	3	14		
その他				
1. 毎日笑顔で子どもや保護者、同僚に接するよう心がけていますか。	9	8		
2. 子どもとよく遊び一緒に楽しんでいますか。	6	11		
3. 子どもの事、クラスの様子や出来事、保護者の様子など、適宜園長や主任に報告・連絡・相談をしていますか。	6	11		
4. 子どもの発達に合った手作りおもちゃなど、創意工夫を惜しまず、保育に取り入れていますか。	3	9	4	
5. 子どもの名前はニックネームではなく、「〇〇さん」「〇〇ちゃん」など丁寧な呼び方をしていますか。	5	11	1	
6. 子どもの個人情報適切に扱うとともに、園内で知り得た事柄に対して守秘義務を遵守していますか。	13	4		
7. 子どもの自発性や発想を大切に、子どもが主体的に活動できるよう適切な援助や環境構成を心掛けていますか。	5	12		
8. 帳簿類は適切に記載し保管されていますか。	9	4		

# 竜石保育園 保育士の自己評価集計表

対象保育士16名

2022年3月実施

評価基準 1:かなりできている 2:ほぼできている 3:あまりできていない 4:ほとんどできていない ※無回答有

1章 総則	1	2	3	4
1. 保育園は入所している子どもの最善の利益を考慮し、心身ともに健やかに育てる責任があることを理解していますか。	13	3		
2. 「保育の目標」に基づいて、保育を行っていますか。	4	12		
3. 子ども一人ひとりの人格を尊重した保育を行うとともに、保育士自らの人間性や専門性の向上に努め豊かな感性と愛情を持って保育していますか。	9	6	1	
2章 子どもの発達				
1. 乳幼児期は生涯にわたる「生きる力」の基礎が培われる時期であることを理解して保育を実践していますか。	11	4		
2. 子どもの発達は、豊かな心情・意欲・態度を身につけ新たな能力を獲得していく過程であることを理解していますか。	11	5		
3. 子どもの発達の特性や「発達過程」を理解し、発達の連続性に配慮して保育をしていますか。	4	10	2	
3章 保育の内容				
1. 保育の内容は、目標を具体化した「ねらい」とさらに具体化した「内容」から構成されていることを理解していますか。	8	6		
2. 保育所保育は、「養護」と「教育」が一体となって展開されることに留意していますか。	7	6	1	
3. 養護とは、子どもの生命の保持及び情緒の安定を図るために保育士が行う援助や関わりであり、教育は子どもが健やかに成長しその活動が豊かに展開されるための発達の援助であることを理解していますか。	6	8	1	
(1)養護に関わるねらい・内容(生命の保持及び情緒の安定)				
4. 朝の健康観察を丁寧に行ったり、一人ひとりの平常の健康状態や発達状態を的確に把握していますか。	6	9	1	
5. 子どもの特性や発達過程を踏まえ、常に清潔で安全・安心な保育環境に心がけていますか。	7	9		
6. 子どもとの応答的な関わりやスキンシップを常に心がけ、子どもの心の安定につなげていますか。	8	8		
7. 保育士等の温かい受容的な雰囲気や関わりが、子どもの自信や自己肯定感を育むことを理解して保育していますか。	11	5		
8. 「早くしなさい!」など、せかす言葉を不必要に使わないで、一人ひとりの発達過程に合わせた対応を心がけていますか。	2	11	3	
9. 「だめ!」「いけません」など、制止する言葉を不必要に用いないようにしていますか。	2	12	2	
(2)教育に関わるねらいと内容				
10. 散歩や園庭など戸外で遊ぶ機会を多く取り入れていますか。	13	2		
11. 保育士が率先して身体を動かすなど、子どもがその楽しさを体験できるよう配慮していますか。	4	12		
12. 食事の前や排泄の後の手洗いを励行する等、清潔の習慣が身につくよう援助していますか。	13	2	1	
13. 子どもが見通しを持って意欲的に行動できるようにするとともに、快適に生活するための約束事をわかりやすく伝える工夫をしていますか。	5	11		
14. 危険に気づいて行動できるよう、安全についての心構えや約束を日ごろから話していますか。	8	6	2	
15. つまずきや葛藤、けんかななどを子どもの育ち(発達)に欠かせないものとして捉え、対処していますか。	4	12		
16. 困っている友だちのことを心配する等、思いやりを持てるよう援助していますか。	7	9		
17. 保育士は子どもにとって最も身近な人的環境であるとともに、保育士の全ての言動が子どもにとってのモデルになっていることを常に意識していますか。	4	12		

18. 園生活の中で順番を守るなど、決まりの大切さを理解できるように、丁寧に説明していますか。	6	10		
19. 子ども同士が力を合わせて取り組む姿や協力して遊びを発展させていく姿を十分に認め、集団意欲を高める関わりをしていますか。	4	12		
20. 子ども同士が思ったことを相手に伝えたり、相手の思いにも気付ける様に援助していますか。	6	10		
21. 身近な自然事象に触れ、「どうして?」や「なぜ?」といった疑問に対して、一緒に調べたり考えたりしていますか。	2	11	3	
22. 身近な自然を通して、その美しさや不思議さなどに気付くことができるようにしていますか。	4	11	1	
23. 毎日の生活の中で、図形や数量、前後左右、遠近等の位置の違いや時刻などについて関心が持てるような環境構成に配慮していますか。	2	12	2	
24. 信頼できる相手に伝えたい、わかってもらいたいという気持ちが発語を促すことを理解し、子どもの表情や姿をよく観察し、その場に適した言葉がけをしていますか。	6	9	1	
25. あなたは、子どもがわからない事を尋ねたり、楽しい経験を話すなど、安心して話せる雰囲気を作っていますか。	4	11	1	
26. 子どもが絵本や物語の内容と自分の経験を結び付けたり、想像をめぐらせるよう、読み方を工夫していますか。	8	7	1	
27. 「ごめんなさい」「ありがとう」など、生活に必要な言葉をいつも使えるように保育していますか。	11	5		
28. 歌ったり、踊ったりして、音や動きの楽しさに気付き、心地よさを感じる機会を作っていますか。	3	11	2	
29. 様々な音、色、形、手触り、動き、味、香りに気付き、心地よさを感じる機会を作っていますか。	2	13	1	
30. ハサミなど色々な道具の使い方を一人一ひとり丁寧に教えたり見守ったりしていますか。	4	12		
31. 自由に描いたりつくったりできるように、材料や用具を子どもが自由に取り出せる場所に置く等工夫をしていますか。	2	11	3	
(3)乳児保育				
1. 室内の温度や湿度調整、換気チェックをしていますか。	7	6		
2. おむつ交換時は、優しく声をかけながら行っていますか。	8	4		
3. 授乳は抱いて、目を合わせたり、微笑みかけたりしながらゆったりと行っていますか。	6	5		
4. 一人ひとりの生活リズムに合わせて、睡眠がとれるように、静かな空間を確保していますか。	7	5		
5. しぐさや声や動きを介して発する欲求を察知し、タイミングよく温かな応答的関わりをしていますか。	2	10	1	
6. 一人ひとりの育ちやその日の様子など、職員間で連携をとり、職員全体で見守る体制ができていますか。	6	7		
7. 離乳食については、家族と連携をとりながら進めていますか。	4	3	1	
4章 保育の計画及び評価				
1. 園の保育理念・保育目標・保育過程などを理解していますか。	8	8		
2. 指導計画のねらいや内容を保護者にわかるように説明できますか。		9	3	
3. 指導計画は必ず保育過程に基づいて作成していますか。	5	4		
4. 年間・月案等の長期的な指導計画と関連させ、子どもの生活に即した週・日案等の指導計画を作成していますか。	4	5		
5. 行事は、その保育上の意義を十分検討した上で、指導計画に組み入れていますか。	6	4		
6. 保育計画(年・月・週)が実際の子どもの姿、心情・意欲・態度に合っているか自己の保育を振り返り、反省・評価をしていますか。	3	5	1	
7. あなたの指導計画の反省・評価は、次の指導計画作成に反映できるものとなっていますか。	2	6	1	
8. その日あった出来事や気になる子どもの様子など、その子どもに関わる他の職員と共有していますか。	10	5		

<b>5章 健康及び安全</b>			
1. 子どもの日々の健康状態を把握し、それを一人ひとりの保育に生かしていますか。	6	9	
2. 身長、体重などの定期的な計測及び健康診断の結果を保護者に伝えていますか。	11	1	
3. 子どもが活動しやすいように、その都度、保育室の換気や温度湿度に配慮していますか。	12	4	
4. 子どもが危険な場所、危険な遊びがわかり、安全に気をつけて行動するよう指導していますか。	10	6	
5. 子どもが落ち着いて食事・おやつを楽しめるように雰囲気作りなど工夫していますか。	6	10	
6. 自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つよう心掛けていますか。	6	9	1
7. 食物アレルギーの子どもに対して、家庭と連携しながら除去食などの配慮をしていますか。また、誤食の予防対策として常にマニュアルに沿った対応をしていますか。	10	6	
8. あなたは、保護者が子育ての悩みや心配事など安心して話せる存在になるよう心掛けていますか。	2	14	
9. あなたの保育に批判的な保護者に対しても、丁寧に意見や要求を受け止めようとしていますか。	4	11	1
10. 食育の計画に基づいて、食育に関する取り組みを実践していますか。	3	10	1
<b>6章 保護者に対する支援</b>			
1. 送迎の際に保護者と必ず言葉を交わすようにしていますか。	8	8	
2. 一人ひとりの保護者と必要に応じて個別に話す機会を持っていますか？	5	8	1
3. 家庭との信頼関係が築けるような連絡ノートの書き方を心掛けていますか。	2	11	
4. 保護者からの相談内容などを、担任一人の問題にしないで園全体で受け止めようとしていますか。	9	7	
<b>7章 職員の資質向上</b>			
1. 職員会議などでは、子どもの最善の利益を尊重して発言していますか。	4	7	5
2. 園の内外における研修・研究活動及び自己研鑽により専門性を高める努力をしていますか。	4	10	2
3. 同僚のそれぞれの役割と、あなたが果たす役割とを理解していますか。	7	9	
4. 職員同士の信頼関係、保護者との信頼関係を深めるための努力をしていますか。	5	10	1
5. あなたは、創意と工夫を惜しまず、喜びや意欲を持って保育をしていますか。	3	13	
<b>その他</b>			
1. 毎日笑顔で子どもや保護者、同僚に接するよう心がけていますか。	10	6	
2. 子どもとよく遊び一緒に楽しんでいますか。	7	9	
3. 子どもの事、クラスの様子や出来事、保護者の様子など、適宜園長や主任に報告・連絡・相談をしていますか。	9	7	
4. 子どもの発達に合った手作りおもちゃなど、創意工夫を惜しまず、保育に取り入れていますか。	4	6	6
5. 子どもの名前はニックネームではなく、「〇〇さん」「〇〇ちゃん」など丁寧な呼び方をしていますか。	5	11	
6. 子どもの個人情報適切に扱うとともに、園内で知り得た事柄に対して守秘義務を遵守していますか。	14	2	
7. 子どもの自発性や発想を大切に、子どもが主体的に活動できるよう適切な援助や環境構成を心掛けていますか。	5	11	
8. 帳簿類は適切に記載し保管されていますか。	8	5	

保育所自己評価表  
(竜石保育園)

2021年度 No.1

ねらい... 保育所の役割や社会的責任を遂行するために、法令などを遵守し、保育所を取り巻く社会情勢などを踏まえ、その専門性の向上に努め、保育所の望ましい管理運営するため、今年度の本所の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かすため本表を活用する。

No.	自己評価の観点・内容	6月	3月
1	保育の理念 子どもの最善の利益を考慮した「保育理念」が明文化されている。	A	A
2	理念に基づく基本的方針が明文化されている。 ①子どもの人権の尊重 ②保育方針・保育目標	A	A
3	理念や基本方針が職員、保護者、地域に周知されている。	A	A
4	子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場 ①健康・安全で心地よい生活の場で子どもの健康管理を実施している。 ②乳幼児にふさわしい食生活環境の工夫と食育を展開している。 ③健診・尿検査の結果を保護者に報告するとともに保育に反映している。	A	A
5	生活と発達の連続性 ①子ども観・発達観の理解と共有が図られ発達過程に応じた保育を実施している。 ②障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。 ③長時間にわたる保育のための環境整備、保育の内容や方法が配慮されている。	A	A
6	子どもの発達援助 養護と教育の一体的展開 ①保育所の保育方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育過程を編成している。 ②指導計画を適切に作成し、定期的な指導計画の評価・見直しを行っている。 ③子どもに関する記録を適切に行い、その管理体制を確立している。 ④一人ひとりの子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している。 ⑤各年齢の保育において、養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。 ⑥小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかわりに配慮している。	A	A
7	環境を通して行う保育 ①生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。 ②子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。 ③子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの共同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。 ④子どもが主体的に身近な自然や社会とかわれるような人的・物的環境が整備されている。 ⑤子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	A	A

A、B、C、の3段階評価記入(A:たいへんよい B:よい C:検討・改善を要する)

8	保護者に対する支援	家庭との緊密な連携 ①子どもの成長の喜びを共有する場を設けている。	A	A		
		②保育内容等の説明・応答責任による、子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	A	A		
		③子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合い場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	A	A		
		④虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	A	A		
		⑤子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	A	A		
		地域における子育て支援 ①子どもと地域とのかわりを大切にしている。	A	A		
		②地域の福祉ニーズを把握している。	A	A		
		③把握した福祉・子育てニーズに基づいた事業・活動の計画があり、実施されている。	A	A		
		④有する機能を地域に還元している。	A	A		
9	地域との連携	⑤保育所の役割や機能を達成するために必要となる、関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に明示し、その情報が職員間で共有されている。	A	A		
		⑥ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	B		
		⑦関係機関等との連携が適切に行われている。	A	A		
		⑧利用希望者が保育所を選択するために必要な情報を積極的に提供している。	A	A		
		⑨保育・保育サービスの開始にあたり保護者等に説明し同意を得ている。	A	A		
		10	健康および安全の実施体制	①緊急時(事故、感染症の発生時など)における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A	A
				②災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	A	A
				③子どもの安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	A	A
				④アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの支持を得て、適切な対応を行っている。	A	A
⑤調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	A			A		
11	保育を支える組織的基盤	職員の資質向上 ①保育・保育サービスの質について定期的に評価を行う体制を整備している。	A	A		
		②保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	A	A		
		③職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A		
		④個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	A	A		
		⑤定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	A		
		⑥実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	B	B		
12	運営の管理・社会的責任	①質の高い保育を行うためのビジョン(目標や展望)を明確にしている。	A	A		
		②事業計画は、施設改修、人材育成、子育て支援等、各年度における事業内容が具体的に示されている。	A	A		
		③事業計画の策定、評価・見直しは組織的に行われている。	A	A		
		④事業計画が職員、保護者に周知されている。	A	A		
		⑤保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	A	A		
		⑥子ども・保護者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A		
		⑦苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A		
		⑧遵守しなければならない基本的な関連法令について、正しく認識されている。	A	A		
総合所見	コロナ感染対策として地域や小学校との交流が出来なかったのが残念である。すべての項目でおおむね良好であるが実習希望が数年ないのが気になる。	所長印	所長印			

A、B、C、の3段階評価記入(A:たいへんよい B:よい C:検討・改善を要する)